

UVインクジェットプリンタと《Form Magic》で 中ロットカード印刷市場を開拓

社員証、入館証、認定証や診察券、ポイントカードなどで利用されるプラスチックカード、ICカードの印刷・加工を行っている株式会社 研美社。バリエブル印刷ソフト《Form Magic 3 Lite Edition》を2010年6月に導入し、UV*インクジェットプリンタでのカード印刷で、バーコードやナンバリングなどの可変出力に活用いただいています。今回は、同社の代表取締役社長 中田 逸郎氏と、現場で実際に使用していただいている日笠 良昭氏に導入の経緯や使ってみての感想をお伺いしました。

※ UV は、Ultra Violet：紫外線の略です。



代表取締役社長
中田 逸郎 氏



日笠 良昭 氏

きっかけは、国際会議の入場証の仕事

「以前からUVインクジェットプリンタを使ってカードへのバリエブル印刷を行いたいという課題というか、目標を持っていました。そんなときに大規模な国際会議で出席者、会場関係者、プレス関係者などの入場カード約15種類を、数百枚ずつ出力するという仕事の話が飛び込んできました。15種類を数百枚という規模だと、従来の方法でカード印刷を行うとどうしてもコストや納期がマッチしません。そこでUVインクジェットプリンタを使いカードにバリエブル印刷するために、《Form Magic 3 Lite Edition》（以下、《Form Magic》）を導入しました。」と研美社 中田社長は話してくださいました。このきっかけで導入した《Form Magic》によって、研美社のカード印刷の対応範囲は大きく広がり、価格も従来に比べて低く抑えることができるようになったそうです。

「従来、研美社ではカードにバリエブル印刷する方法として、台紙などの可変しない部分をオフセット印刷した後で可変する部分を印刷する方法と、全体を昇華転写型プリンタで印刷するという二つの方法を使っていました。ただ、オフセット印刷を使う方法は、数量が少なかったり版の

数が多かったりすると、コストの面で折り合いません。また、すべてを昇華転写型プリンタで印刷する方法は、数量がある程度多いと時間がかかりすぎるといった問題があります。きっかけとなった国際会議の仕事のように、オフセット印刷を使うには種類が多い（版数が多い）上に数量が少ないが、昇華転写型プリンタを使うには数量が多過ぎるといった両者の中間、言うならば『中品種、中ロット』の仕事にマッチするのが《Form Magic》とUVインクジェットプリンタの組み合わせです。」と中田社長は言います。

研美社のWEBサイト (<http://www.kenbisha.com/>) には、カードにいろいろな情報を印刷したいというお客様の問い合わせが日本全国からあるそうです。

「いままでは技術的に難しかったり、とてつもなくコストが高くなったりでお断りしていたものが、《Form Magic》とUVインクジェットプリンタの組み合わせで実現できるようになりました。研美社は小回りの利く、かゆいところに手の届くというのを目指しています。従来のオフセット印刷方式や昇華転写型プリンタ方式に《Form Magic》とUVインクジェットプリンタという組み合わせが加わったことで、サービスの幅をより一層広げることができたので、大変よかったなと思っています。」



《Form Magic》とUVインクジェットプリンタで出力した研美社のカードサンプル

こんな言葉を中田社長からいただくことができました。

《Form Magic》とUVインクジェットプリンタが切り札

次に、実際に現場で《Form Magic》を操作している日笠氏にお話を聞きました。

「カード印刷ができる会社は限られている

所在地 ●大阪本社 〒534-0025
大阪市都島区片町1丁目5番13号
大手前センチュリービル B1F
TEL (06)6351-1766
●東京営業所 〒104-0032
東京都中央区八丁堀2丁目7番1号
TOKYU REIT 八丁堀ビル 1F
TEL (03)6228-3900
●URL <http://www.kenbisha.com/>

事業内容

- ・プラスチックカードの製造販売
- ・バーコード印字・ナンバリング・磁気エンコード入力・箔押し加工等各種加工
- ・IDカード発行機・カードプリンタ・エンボッサー・リライカードシステム等
- ・カード関連機器の販売
- ・プラスチック製下敷きの製造販売
- ・名刺印刷（オフセット・特殊加工）・シール印刷等各種印刷

と思います。その中の研美社の特長は、昇華転写型プリンタを使っているほかの印刷会社では印刷が難しいカードに対して、UV インクジェットプリンタで印刷ができる点です。昇華転写型プリンタは、カードに汚れや指紋があるとうまく印字できません。また、チップが搭載されているICカードは、表面に凸凹があるためうまく印字できない場合があります。コストが高いICカードのロスはばかになりません。UV インクジェットプリンタならそうした制限に関係なく印刷することができます。」と日笠氏は話します。

そんなUV インクジェットプリンタと《Form Magic》の相性は大変良いそうです。「《Form Magic》とUV インクジェットプリンタの組み合わせは「切り札」的な感じですね。《Form Magic》導入前は、QRコードを印刷した後で、その他の部分を印刷するという2段階の工程を踏む必要があ

りました。これが《Form Magic》導入後は、UV インクジェットプリンタによる1段階の工程でQRコードを含む全体を印刷できるようになりました。この1段階で印刷できるようになったことが一番、効率化・時間短縮という面で効果がありました。また、導入前は使っていたソフトの仕様で、1枚のカードにバーコードは一つしか印刷できませんでした。《Form Magic》にはバーコードやナンバリングの個数に制限がありません。そのため、UV インクジェットプリンタでの印刷では常に《Form Magic》を使うようにしています。UV インクジェットプリンタで出力する場合、縦9枚×横5枚の合計45枚のカードを固定用の治具に並べて出力します。以前は、Illustratorを使って手作業で面付けしていましたが、《Form Magic》導入後は、面付け機能を使えるので一瞬で面付けができてしまいます。そういった点でもず

いぶん効率化に役立っています。」と日笠氏は話してくださいました。

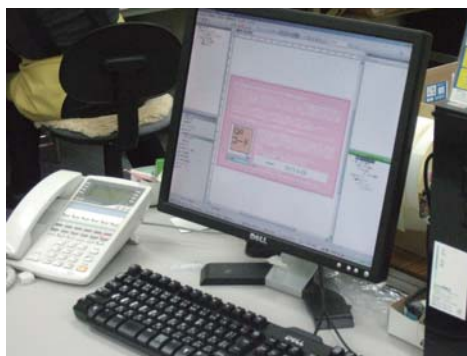
カード印刷の更なる進化を目指す

最後にカード印刷というビジネスに精力的に取り組んでいらっしゃる中田社長に今後の展開をお聞きしたところ「現在は、WEBから社員証などのカードのデザインと原稿データを入稿してもらっています。将来的にはWEB上でカードをお客様にレイアウトして頂いて、印刷するビジネスを手がけたいという夢があります。」という答えが返ってきました。WEBと連携する組版システムは弊社の得意とする分野です。新しいサービスを構築される時は、是非弊社もご協力させていただきたいと考えています。

■研美社様でのカード印刷の流れ



①使用しているUVインクジェットプリンタは、(株)ミマキエンジニアリング製「UJF-605CII」。



②《Form Magic》の画面。この画面では固定部分を台紙としてセット、QRコードとシリアル番号を可変部分として設定しています。



③カード固定用の治具に45枚のカードをセットしたら、印刷準備の完了です。



④光っているのがUVランプ。UVランプが照射されると即座にインクは硬化します。

FUJIFILM

●お問い合わせは下記まで

富士フイルム グローバル グラフィック システムズ株式会社

〒106-0031 東京都港区西麻布2-26-30 富士フイルム西麻布ビル

TEL:03-6419-0300(インフォメーションダイヤル)

URL <http://ffgs.fujifilm.co.jp/>